

# 記入例

(スタート・ステップ 共通) H21 申請-添付書類 1

- 該当部分に 印を忘れずに記入

該当部分に 印

団体名( ) スタートアップ・ステップアップ A B C

## 団体の概要・実績申出書

設立年月	年	月	会員数	名(平成 21 年 2 月 12 日現在)
【 <b>設立目的・趣旨</b> 】 端的かつ明確に				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰を対象とした何のための(何を目的とした)活動団体なのか、ご記入ください。</li> <li>● 団体の規約、要綱等で定められている場合には、その内容を記入していただいても構いません。</li> </ul>				
活動分野 (該当する 印を チェック(3 つま で))	保健・医療・福祉      社会教育      まちづくり      文化・芸術・スポーツ 環境保全      災害救援      地域安全      人権擁護・平和      国際協力 男女共同参画社会形成      子ども健全育成      情報化社会の発展      科学 技術振興      経済活動活性化      職業能力開発・雇用機会拡充      消費者保護 前各号の活動への助言・援助			
	主たる活動分野(1 つ) ( )番			
【 <b>活動歴</b> 】(簡条書き) 設立から現在に至る活動歴を年ごとに記入				
団体の活動目的・ミッション(使命)を達成するために、どのような活動を具体的に に行ってきたのかをご記入ください。 【例】 平成 年 団体設立 平成 年 ××事業を開始 平成 年 ××事業を発展させ、新たに 事業を開始				
団体が活動する主な場所(地域を含む)をご記入ください。				
主たる活動場所				
主たる活動メンバー ( 該当項目に 印)	在住 ・ 在勤 ・ 在学			
	区 町 ( 町名まで記入)			

募集パンフレット「選考基準」(p.4)の5つの項目における評価の視点を考慮しご記入ください。

(スタート・ステップ 共通)H21 申請-添付書類 2

該当部分に 印

団体名( )スタートアップ・ステップアップ A B C

申請事業計画書

受給実績  
(該当に 印)

【ステップアップ 助成申請団体のみ記入】

新規・継続(同一事業) \_\_\_回目 前回受給:平成\_\_\_年度

申請事業名

事業目的

- 何を実現または達成するためにこの事業に取り組むのか、目的を具体的かつ簡潔明瞭にご記入ください。また、団体の設立目的・趣旨とどのように関連しているのかについてもご記入ください。

事業内容

実施時期・場所、対象者(募集方法を含む)、実施方法、他団体との連携予定などを具体的に記入

- 実施予定の事業内容を「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「誰(何を対象に)」実施するのかを明確にご記入ください。
- また、対象者の募集方法や、事業を実施するにあたり連携を予定している団体等がありましたら、併せてご記入ください。

定義は次のとおりです。

【実施責任者】事業の計画、推進する者(いわゆる進行管理における責任者、プロジェクトリーダー的立場にある者。)

【専従者】庶務・会計、事業実施スタッフ等、事業の主要な推進スタッフ。(給与発生の有無は問いません)。

【会 員】会費を支払っている者。会員として登録されている者。

【ボランティア等】専従者ではないが事業実施にあたり補助的に支える者。

事業の  
運営体制

役 割

人 数

業 務 内 容

( 右に掲げる事業執行者の内訳等を記入)

実施責任者

人

専従者

人

会 員

人

ボランティア等

人

- 事業運営における役割を具体的に記入ください

団体名( )ステップアップ A・B・C 該当部分に 印

ステップアップ (充実・拡大) 部分 新規事業の場合は従来の活動との違い、継続事業の場合は前回の活動との違いを記入

箇条書き

- 【ステップアップ(充実・拡大)部分の記入について】
- 新規事業の場合は従来の活動と比較して、継続事業の場合は前回の活動と比較して、事業規模や内容を充実・拡大させた部分をご記入ください。
  - 「これまでの活動を充実・拡大し行う事業」は事業の対象者・活動地域や時間等を充実・拡大して行うこと、「類似の活動を新た企画し行う事業」とは、例えば配食サービスに加えて送迎サービスを開始することなどを言います。

実施効果 申請事業を充実・拡大したことにより生じる効果(地域や市民にもたらされると予測される効果を含む)を記入

団体決算額 [17年度] 千円 [18年度] 千円 [19年度] 千円

- 過去3年間の団体全体の決算額をご記入ください。
- 平成20年度分の決算書は別に提出いただきます。

	月	作業内容
スケジュール	4月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 助成対象事業に関する月ごとの具体的な実施内容をご記入ください。 【例】 のための企画検討会議、 講座の開催( 市民館、講師 、対象 ) 事業終了後の振返り 等</li><li>● このスケジュールは、添付書類 2-「事業内容」を実現するための実際の工程・方法をご記入いただく欄です。事業推進の結果、添付書類 2-「事業目的」が達成されるような計画となります。</li><li>● 各月の実施内容が同じ場合は、繰り返し記号( " )の記入でも結構です。</li><li>● このスケジュールを実施するために必要な経費が「添付書類 5～7」で具体的に計上されているか、確認をお願いいたします。</li></ul>
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	

- 事業を実施するにあたり必要な経費を具体的にご記入ください。実際に事業を実施スケジュールと整合性が図られているか、確認をお願いします。

申請事業収支予算書 (申請事業名 )

収入

(単位:円)

費目	内 訳	積算根拠	金 額								
自己資金(会費など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「内訳」には費目の具体的な内容を、「積算根拠」には「内訳」の積算根拠をご記入ください。</li> <li>● 前期繰越金は、自己資金に計上してください。</li> </ul> <p>【例】</p> <table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td>積算根拠</td> </tr> <tr> <td>会 費</td> <td>@ 円 × 人(会員) = 円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>円</td> </tr> </table>		内 訳	積算根拠	会 費	@ 円 × 人(会員) = 円	自己資金	円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 費目ごとの合計金額をご記入ください。</li> </ul>		
内 訳	積算根拠										
会 費	@ 円 × 人(会員) = 円										
自己資金	円										
他の助成金収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「内訳」に助成先及び助成金名称、「積算根拠」に助成額を具体的にご記入ください。</li> </ul> <p>【例】</p> <table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td>積算根拠</td> </tr> <tr> <td>財団 助成金</td> <td>円</td> </tr> </table>		内 訳	積算根拠	財団 助成金	円					
内 訳	積算根拠										
財団 助成金	円										
事業収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「内訳」に事業収入を得る方法、「積算根拠」にその内訳を具体的にご記入ください。</li> </ul> <p>【記入例】</p> <table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td>積算根拠</td> </tr> <tr> <td>講座受講料</td> <td>1 講座 円 × 全 回 × 受講者 人 = 円</td> </tr> <tr> <td>グッズ販売</td> <td>@ 円 × 個 = 円</td> </tr> <tr> <td>広告収入</td> <td>円</td> </tr> </table>		内 訳	積算根拠	講座受講料	1 講座 円 × 全 回 × 受講者 人 = 円	グッズ販売	@ 円 × 個 = 円	広告収入	円	
内 訳	積算根拠										
講座受講料	1 講座 円 × 全 回 × 受講者 人 = 円										
グッズ販売	@ 円 × 個 = 円										
広告収入	円										
その他の収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「内訳」に寄付元及び、「積算根拠」にその具体的にご記入ください。</li> </ul> <p>【記入例】</p> <table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td>積算根拠</td> </tr> <tr> <td>寄付金(個人)</td> <td>円</td> </tr> </table>		内 訳	積算根拠	寄付金(個人)	円					
内 訳	積算根拠										
寄付金(個人)	円										
かわさき市民公益活動助成金申請額											
<b>合 計</b>											

- 支出予算書の合計金額と同額になります。

団体名( ) ステップアップ A B C

支出

該当部分に 印

(1) 事業実施に必要とされる経費

(単位：円)

費目	内 訳	積算根拠	金 額
謝礼金等	[例] 講師謝金	@ 円 × 名分 = 円	
	[例] 出演料	@ 円 × 講座 回 × 人 = 円	
[注] 団体構成メンバー(会費を支払う会員を含む)への謝礼は認められません。			
旅 費	[例] 出張旅費	JR:A 駅~B 駅:@ 円 × 人分 = 円	
	[例] 講師や団体スタッフの移動に要する交通費等 添付書類 4「スケジュール」における旅費発生部分との整合性を図ること。		
消耗品費	[例] 広報ちらし用紙	@ 円(A4 2,500 枚入) × 冊 = 円	
	購入内容を具体的にご記入ください。 2万円以上は「備品費」へ		
通信運搬費	[例] 広報ちらし郵送代	@ 円 × 参加者あて 通 = 円	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単価 2 万円以上(税別)のものを当欄にご記入ください。</li> <li>● 専門業者による見積書(原本)の添付が必要です。</li> </ul>		
備品費	[例] 食器戸棚	@ 円(税込) × 台 = 円	
	備品の使用目的・方法等「備品を必要とする理由」を記入 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計上備品が申請事業に必要不可欠である理由をご記入ください。</li> </ul>		
使用料及び賃借料	[例] 障がい者を対象とした配食サービスを開始するにあたり食器戸棚が必要となる。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請事業を実施するにあたり発生する会場使用料や、備品等のリース料 等</li> </ul>		
	[例] 研修会場使用料	市民館(午後)@ 円 × 回 = 円	

(2) 団体の運営に要する経費(今回申請する事業の実施に伴い新たに必要となる部分の計上に限る)

事務所等賃借料	[例] 家賃	月額 円 × 事業期間 ヲ月分 = 円	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業実施期間における家賃等の賃借料 等</li> <li>● 契約書等、算出根拠となる資料を添付してください。</li> </ul>		
光熱水費	[例] 電気代	月額 円 × ヲ月分 =	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業実施期間における光熱水費</li> <li>● 額を裏づける資料を併せて添付してください。</li> </ul>
	[例] 水道代	月額 円 × ヲ月分 =	
アルバイト賃金	[例] 事務補助	@ 円 × 日分 × 人分 = 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 添付書類 5「収入」の合計額と同額になります。</li> </ul>
	アンケート集計	@ 円 × 日分 × 人分 =	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請事業を行う上で新たに雇用した人の賃金です。</li> </ul>			

(3) その他経費

具体的な費目を記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記以外で必要となる経費を計上する欄です。</li> </ul>		
合 計			

団体名( \_\_\_\_\_ )

## 支 出

(単位:円)

費 目	内 訳	積算根拠	金 額
謝礼金等	[例] 講師謝金	@ 円 × 名分 = 円	● 費目ごとの合計金額をご記入ください。
	[例] 出演料	@ 円 × 講座 回 × 人 = 円	
	[注] 団体構成メンバー(会費を支払う会員を含む)への謝礼は認められません。		
旅 費	[例] 出張旅費	JR:A 駅~B 駅:@ 円 × 人分 = 円	
		[例] 講師や団体スタッフの移動に要する交通費等 添付書類 4「スケジュール」における旅費発生部分との整合性を図ること。	
消耗品費	[例] 広報ちらし用紙	@ 円(A4 枚入) × 冊 = 円	
		● 購入内容を具体的にご記入ください。 ● 単価 2 万円以上のものの購入は認められません。	
通信運搬費	[例] 広報ちらし郵送代	@ 円 × 参加者あて 通 = 円	
使用料及び賃借料	[例] 研修会場使用料	市民館(午後)@ 円 × 回 = 円	
		● 申請事業を実施するにあたり発生する会場使用料 等	
合 計			● 添付書類 5「収入」の合計額と同額になります。